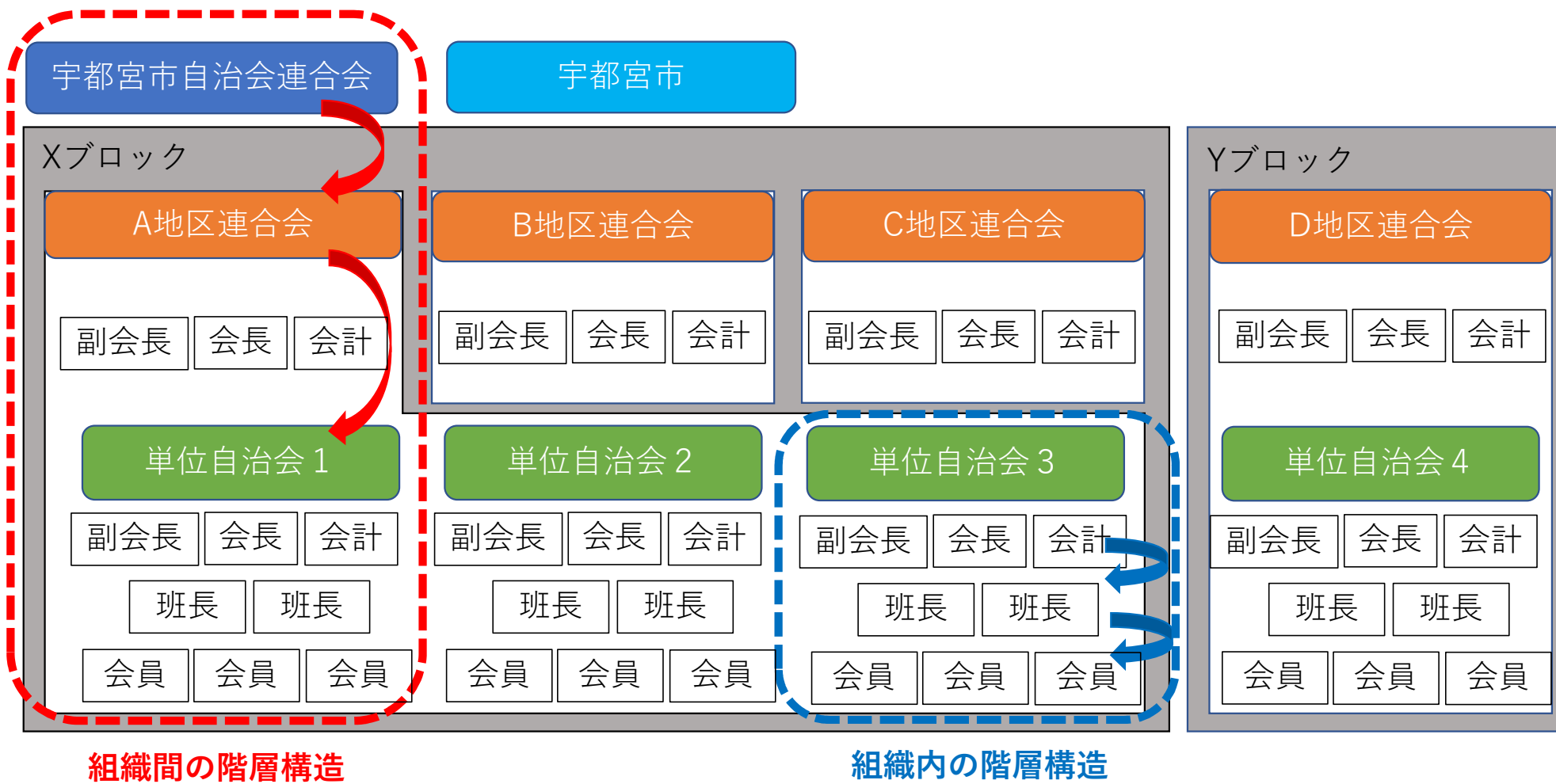


宇都宮市における自治会の階層構造について

別紙 1



【組織間の階層構造について】

- 宇都宮市には782の自治会（以下「単位自治会」という。）が存在している。各単位自治会は39の地区連合自治会（以下「連合自治会」という。）のいずれかに所属している。
- 39の連合自治会で宇都宮市自治会連合会（以下「宇自連」という。）を構成している。
- 39の連合自治会は中央、東、西、南、北の5つの地区ブロックに分けられる。
- 各連合自治会の会長の多くは、単位自治会の会長を兼任し、宇自連の理事も兼ねる。
- 宇都宮市から市内の全単位自治会、特定の地区内の単位自治会又は特定の単位自治会に対して回覧の配信などを行うことを予定している。
- 宇自連から各連合自治会に、又は各連合自治会から地区内の単位自治会に、それぞれ会議の開催通知や回覧の配信などを行うことを予定している。

【組織内の階層構造について】

- 宇自連及び連合自治会においては、会長、副会長、会計などの役員があり、それぞれの役割に応じて会議の開催通知の発信や受取などを行うことを予定している。
- 単位自治会においては、会長、副会長、会計などの役員に加え、スポーツ委員、環境委員、防災委員、子ども会・育成会、班長などの多様な役割があり、それぞれの役割ごとに会議の開催やイベントの通知などを行うほか、大多数の会員は一般会員として回覧の閲覧のみを行うことを予定している。